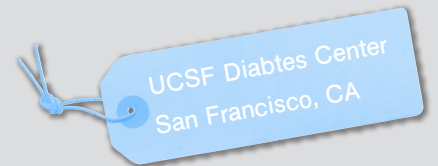


## UCSFでの研究生生活



田島 一樹

Kazuki Tajima

Postdoctoral fellow, Kajimura Lab, UCSF Diabetes Center

### はじめに

私は、2017年7月から米国カリフォルニア州サンフランシスコにあるUCSF(University of California, San Francisco)Diabetes CenterのShingo Kajimura先生の研究室にポスドクとして留学し、褐色脂肪の基礎研究に携わっております。元々日本では、膵β細胞を中心とした糖尿病の基礎研究に携わっていましたが、膵臓と他臓器間における糖代謝制御に興味をもち、その中でも、褐色脂肪の研究に身を投じてみたいと思い、幸いにも、この度、Kajimura研究室に留学することができました。



Kajimura Lab集合写真(2017年夏のLab retreat)

前列:左端が筆者,右端がShingo Kajimura先生。

### サンフランシスコでの生活

サンフランシスコは、カリフォルニア州の北西部に位置し、気候は1年中涼しく過ごしやすい街です。大学周囲の治安はとても良く、身の危険を感じることはありませんが、生活する上での最大の問題点は、年々、高騰しつつける住宅費にあります。近隣にAppleやGoogle、Facebookの本社があり世界中から人々が集まるため、その人気によって家賃が高騰し、2LDKで月平均4,500ドル(約50万円)という全米一の高さを誇る家賃で、現在も上昇し続けています。市内でも住む地域によって差はありますが、ポスドクにとっては深刻な問題です。それを除けば、海にも山にも囲まれ、自然が多くとても美しく住みやすい街だと思います。また、UCSFには、研究留学している日本人研究者が多く、日本人コミュニティが充実しているため家族間の交流もあり、非常に心強いものとなっております。

### Kajimura Labでの研究生生活について

UCSFは1873年に設置されたカリフォルニア州立大学のサンフランシスコ校で、主に医学分野を専門にしている大学院大学です。私が所属しているKajimura研究室は、2010年に完成した新しい研究所であるEli and Edythe Broad Center of Regeneration Medicine and Stem Cell Researchにあります。Principal